

プログラム名 (40字以内)	柳川の掘割で学ぶニホンウナギの生態調査と生息環境の回復		
団体名/所属	認定特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン		
活動区分	ボランティアなどの社会貢献活動, 農林水産業などに関わる地域体験活動, フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	1人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	安全に配慮してフィールドワークを楽しむこと。専門的な知識やスキルは不要です。		
活動期間	2026/9/5(土)～9/6日(日)	主な活動予定場所	福岡県柳川市
プログラム実施の目的	日本食文化の貴重な資源であるニホンウナギは、シラスウナギの乱獲や生息環境の悪化等により、2013年に絶滅危惧種に指定されています。かつては多くのシラスウナギが遡上した福岡県柳川市の掘割(水路)は、水門の建設により遡上ができなくなり、ニホンウナギは姿を消しています。そこでウナギ資源の回復を目指し、石を積めたカゴ(石倉カゴ)4基を掘割に設置し、カゴの中の生物の種類や個体数の計測などの調査を行います。この調査で得るウナギ生態の知見は、掘割の今後を協議する「柳川掘割ウナギ円卓会議」や柳川市の事業に提供されます。参加学生は、ニホンウナギの生態調査に携わりながら、ウナギの生息する環境を学び、食と生息環境のあり方を考えることができます。		
具体的な内容(800字程度)	掘割に設置した石倉カゴの石を取り出し、石倉カゴの中にある魚類や甲殻類を採集・選別し、種名を調べ、体長や体重などを測定し、記録します。またラボでは、放流用稚ウナギの測定とタグ付けを行います。 調査後には、環境省レッドリストで絶滅危惧B類に指定されているニホンウナギの現状や、柳川でのウナギ生息域の量的回復、すなわち、河川を縦方向とすると横方向(水路、水田など)のウナギの生息場所を回復する取り組みについてレクチャーを行います。 詳しくはプログラム解説書をご覧ください。 <調査プログラム解説書 2025(参考)> https://www.earthwatch.jp/doc/briefings/briefing_unagi_2025.pdf 調査に先立ち、調査方法はお教えますので特別な知識や技能は不要です。 アースウォッチのプログラムは、高校生から社会人、さらにはシニア世代まで幅広い年代の方が参加します。レクチャー後の意見交換の場では、様々なバックグラウンドの方と意見を交換し、知見を深めていただくことができます。		
【総額】参加するための費用	約50,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	アースウォッチが手配する宿泊施設にかかる費用 (1泊あたり約10,000円を目安)		
【内訳】参加するための費用(交通費)	自宅から調査地(福岡県柳川市/最寄り:西鉄柳川駅)までの往復交通費 <参考> ・東京駅 → 博多駅(新幹線) → 西鉄柳川駅 往復 約30,000～40,000円程度 ・羽田空港 → 福岡空港(航空機) → 博多駅 → 西鉄柳川駅 往復 約30,000～40,000円程度 ※利用時期・予約条件・経路により金額は変動します。		
【内訳】参加するための費用(その他)	参加費:3,000円 食事代:5,000円程度		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	プログラム概要 https://www.earthwatch.jp/japan_programs/unagi/		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	過去の調査報告は、こちらからご覧いただけます。 https://www.earthwatch.jp/annual_report/		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://www.earthwatch.jp		
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加しない		